

# 市役所 あれやこれや

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

## 3.15(月) 男も持つぞ!マイバッグ!キャンペーン

普段マイバッグを使用する機会の少ない市役所男性職員を対象に、平成22年2月16日(火)～3月15日(月)の1カ月間レジ袋を断りCO<sub>2</sub>削減に貢献する「男も持つぞ!マイバッグ!キャンペーン」を実施しました。これは、高知県地球温暖化防止県民会議で定められたものです。  
この期間に参加した職員は210人。レジ袋を断った回数1,415回で、CO<sub>2</sub>削減効果は105.3Kg-CO<sub>2</sub>でした。

## 3.31(水) 埋蔵文化財の報告書が完成

昨年4月に香南市文化財センターを開設し、埋蔵文化財の報告書作成に取り組んできました。このたび、下分遠崎遺跡Ⅳ・母代寺土居屋敷遺跡・兎田柳ヶ本遺跡の3集を刊行しました。各20冊ほど部数に余裕がありますので、1冊1,000円で販売いたします。  
また、以前刊行しました下ノ坪遺跡・深淵北遺跡・上岡遺跡も部数に余裕があり、いづれも1冊1,000円です。購入を希望される方は香南市文化財センターまでご連絡ください。

環境対策課 ☎ 57-8508

香南市文化財センター ☎ 54-2296

2010

## 3.31(水) 食育推進計画を策定

生涯にわたって健康な食生活を実践する力を育むとともに、いきいきと笑顔で元気な香南市をめざしていくことを基本理念とした香南市食育推進計画を策定しました。平成22年度から5年間の計画で、行動指針とライフステージに応じた食育の推進に取り組んでいきます。

- ◆食育推進の重点目標
- ①しっかり食べよう 朝ごはん
  - ②整えよう 生活リズム
  - ③実践しよう 地産地消

※詳細は健康対策課、本庁市民室、各支所、ホームページをご覧ください。



## 4.5(月) 広報編集委員を紹介します

市民に親しまれ、分かりやすく伝える広報誌の編集を目指し、22年度の広報編集委員を5人の方に委嘱しました。市内で見かけましたら、広報へのご意見や要望など、ぜひお声がけください!



- 任期 平成21年4月1日～平成22年3月31日
- 委員(敬称略・50音順)  
久保 きみ(野市町)  
島崎 則彦(吉川町)  
島村 立法(野市町)  
田中たい子(夜須町)  
野村土佐夫(赤岡町)

総務課 ☎ 57-8500

## 給食を考える。

給食センター建設に向け、不安や疑問を解消するための話し合い! 第4回香南市立統合給食センター建設検討委員会 学校教育課 ☎ 57-7524

2月23日、大峰の里で第4回香南市立統合給食センター建設検討委員会を行いました。会合では「地区説明会のまとめ」と「建設検討委員会のまとめ」について検討。委員からは「統合することが確定していないので、これ以上建設検討委員会としての検討はできません。教育委員会としての建設に対する方向性を確定してください」などの意見がされました。

また、平成22年度の建設検討委員会の主要目標として、  
①8月ごろを目的に、これまでの疑問や課題を調査研究して、施設構想を含めた調査結果や建設のタイムスケジュールを示すことのできるように取り組む。  
②事務局の充実と建設検討委員の増員と専門職による作業部会を設置する。  
この2点の確認を行いました。



## タケノコによっきによっき

### 三宝山でタケノコ掘り

4月17日(土)「のいち遊びすとクラブ」などの主催で、三宝山タケノコ掘りが行われ、市内の小学生親子約20組が参加しました。

大日寺から徒歩10分の山道を登り、息を整える間もなく頭を出したタケノコを見つけると競うようにタケノコ掘り開始。みんな夢中になってクワを振っていました。あっという間に袋はいっぱいになり、それでもまだまだ掘り足りない様子の子どもたち。夕食には、おいしいタケノコ料理が食卓に並んだことでしょう。



## ウグイスの鳴く山里で

### 長谷寺「花祭り」

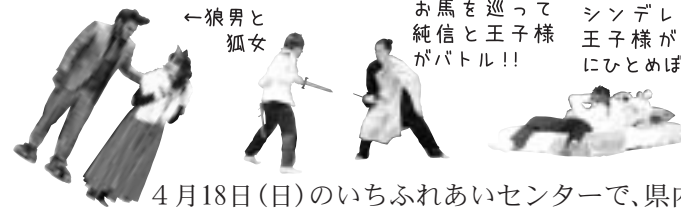


4月8日(木)夜須町羽尾の長谷寺(小林玄徹住職)でお釈迦さまの生誕を祝う「花祭り」が行われ、住民や檀家らが集まり花御堂の釈迦像に甘茶をかけて無病息災を祈りました。また、本堂では命の尊さを自覚しようと、人情味あふれる話し口でのチベット自治区の悲惨な現状を伝える桂七福さんの落語やアタサさんのインド楽器シタールの演奏などが催されました。

春を惜しむように散るサクラ。集まった約100人は、それぞれ思いを強くしているようでした。

## まっことうまいねえ

### 土佐弁ミュージカル【かざしファンタジー】



4月18日(日)のいちふれあいセンターで、県内在住の外国人青年らでつくる「GENKI青年会」による土佐弁ミュージカルが上演されました。「よさこい節」の歌詞で有名な坊さん・純信とお馬が、グリム童話やイソップ童話の登場人物たちに追われたり、闘ったり。歌とダンス、流行のお笑い芸人ネタや時事ネタ、龍馬伝パロディーなどが随所にちりばめられたシュールな冒険ファンタジー・ラブコメディに、観客席からは笑いや感心する声が聞こえていました。



わたし、赤ずきん

## 岡本弥太文学賞(敬称略)

4月17日(土)、香我美町出身の偉大な詩人、岡本弥太の功績をたたえる白牡丹祭が、今年から香我美町峯本神社から弁天座に会場を移し、岡本弥太文学賞の表彰式を行いました。受賞された方は次のとおりです。

- 【詩部門】※学年は応募当時で掲載
  - 一般の部 丁野貢一 (高知市)
  - 中学生の部 明智 希 (鏡野中1年)
  - 小学生の部 おぐしたくや (香我美小1年)
- 【短歌部門】
  - 一般の部 石川てる (香南市)
  - 小学生の部 小串菜央 (香我美小5年)
- 【俳句部門】
  - 一般の部 橋本錦浦 (黒潮町)
  - 中学生の部 北村 遙 (香我美中2年)
  - 小学生の部 中村直史 (高岡第一小4年)
- 【川柳部門】
  - 一般の部 岡村千鳥 (宿毛市)
  - 中学生の部 木下翔太 (鏡野中2年)
  - 小学生の部 池田圭吾 (高岡第一小3年)